

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年9月1日～9月7日)

2020年9月8日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣とモスクワで会談(9/2)
- ルカシェンコ大統領、ミシュスチン露首相とミンスクで会談(9/3)
- 調整評議会幹部会メンバーのコレスニコヴァ氏、ミンスク市内で何者かに拉致される(9/7)
- 8月、ベラルーシ金準備高、約14億ドル、15.8%の大幅減少(9/7)

【ルカシェンコ大統領動静】

●パラナヴィチ国立専門技術単科大学を訪問(9/1)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・9月1日、知識の日を本大学で始められて嬉しく思う。本大学では、半世紀に亘り、労働市場において必要とされる技能を教えている。ミシン工、デザイナー、設計者、美容師は、人々に快適さと美をもたらす。我々はあなた方を誇りに思う。

・全ての教師は国家の保護下に置かれるだろう。今でもそうであり、常にそうあり続ける。今後、学問の教育的役割に注意を割く必要があるということは、我々にとっての教訓である。若者は、法律を理解し、分析し、事実を集め、ポピュリズム的スローガンの裏に何かがあるかを見抜けるようになるべきである。子供達は、真の愛国者として育たなければならない。

・我々は(ロシアと共に)、ブレストからウラジオストクまで、共通の故郷を守る。

・ベラルーシがブレストとグロドノの国境を閉鎖したらドイツの貨物はそう簡単に東方に届かなくなる。だから、より弱い国々が反ベラルーシ行動を命じられたのだ。

・(31日に入国拒否された)コンドルセヴィチ大司祭が保有している国籍が1つではないとの情報がある。

(9/1 大統領公式ホームページ)

●習近平中国国家主席に対し、日本の軍国主義に対する勝利と第二次世界大戦終結75周年に際する祝電を送付

(9/3 国営ベルタ通信)

●ミシュスチン露首相とミンスクで会談(9/3)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・抗議デモ運動は、国外からコントロールされている。ポーランド、チェコ、リトアニア、ウクライナが最も我々を警戒させている。

・ナヴァリヌイ毒殺の試みは、ドイツによる偽装である。ベラルーシは、ポーランド政府とドイツ政府の会話を盗聴した。彼らは、プーチン露大統領がベラルーシに干渉しないようにこれをやった。

ミシュスチン露首相の発言要旨は以下の通り。

・連合国家の未来などの多くの議題で進展が見られた。

・ベラルーシとロシアは、エネルギーの支払いに関する議題について合意した。(石油、ガス価格に関するものと推測されるが詳細は現時点では不明)

(大統領公式ホームページ)

●政府高官人事(カッコ内は前職)(9/3)

・ヴァクリチク国家安全保障会議国家書記(国家保安委員会委員長)

・チェルチェリ国家保安委員会委員長(国家統制委員会委員長)[注:ラフコフ前書記の異動先は未定。]

・ゲラシム国家統制委員会委員長代行(同会副委員長)

・クハレフ・ミンスク市長(副首相)

・シバク副首相(ミンスク市長)

(9/3 大統領公式ホームページ)

●国家安全保障会議メンバーと会談(9/5)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・我々にとっての重要な課題は経済である。経済が成り立たなければ、イデオロギーや国家の安寧に期待できない。

・多くの国では、(新型コロナウイルスの影響による)検疫終了後、工場の再稼働や生産再開が思うように進んでいない。我々はパンデミック期間においても生産を止めることはなかった。そのため、付加価値のある製品を販売するチャンスがある。

・肩章をつけた人々(治安部隊、軍関係者)は、企業の正常な稼働を保障しなくてはならない。

(9/5 大統領公式ホームページ)

●ナスケヴィチ捜査委員会会長と会談(9/7)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・選挙前後に見られた政治的諍いや混沌は、政権や管理制度における一連の欠点や不備を明らかにした。捜査委員会としてはこれらの出来事が何を示していると思うか。どのような教訓が得られたであろうか。

ナスケヴィチ会長の発言要旨は以下の通り。

・捜査委員会は、平和裡かつ計画通りに自身の課題を履行している。社会政治的な行事と、新型コロナウイルス感染拡大を背景に、国内の犯罪率は、昨年対比8%減少している。捜査委員会の負担は軽減された。

・犯罪の構造が変わった。情報技術分野での犯罪が増加した。これはここ数年の傾向である。治安部隊も、情報技術を用いてこれらの犯罪の摘発に方向転換した。

(9/7 大統領公式ホームページ)

外交

●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣とモスクワで会談(9/2)

会談後、記者会見におけるマケイ外務大臣の発言要旨

・ベラルーシは西側諸国によるウクライナ・シナリオの実現を許さない。

・ベラルーシ大統領選は、国外勢力による国内情勢

不安定化に利用された。我々はこれまで、巧妙で洗練された国外からの抗議活動の下準備に直面したことはない。我々は、近い将来、国内の対立が解消されると、意見が一致した。

・憲法改正は、2年もしくは1年半後、採択される予定。

・ベラルーシは、欧州による制裁に対するシンメトリックな対抗制裁を準備し確認した。熱心にベラルーシの内政干渉を試み、反政府勢力に財政支援の提案を行った者(に対する制裁)である。

・悪い選挙であっても、我々の国を進化させる動きを促進する。我々は革命的変動には反対する。

会談後、記者会見におけるラブロフ外務大臣の発言要旨

・反政府勢力をオープンに支援する一連の外国によるベラルーシ政府への圧力を非難する。

・欧州安全保障協力機構は、大統領選挙の国際監視を保障するという自身の義務を履行する能力がないと明らかになった。我々は、ベラルーシ国境近くを含め NATO の活発化を目視している。

・ルカシェンコ大統領による憲法改正のイニシアチブを極めて有望と考えている。

・ロシアが調整評議会メンバーと会談することはない。

・ウクライナのいくつかの組織が、ベラルーシ各都市における過激行為を挑発し、各行事に資金拠出している。ヴォルィーニ(ウクライナ北西部)で訓練を受けた約200名の過激主義者がベラルーシ国内にいる。

(9/2 ベラパン通信)

経済

●2020年1月～7月、ミンスク市貿易高、去年同期対比27%減少。

(9/2 ベラパン通信)

●アレニコフ弁護士(ITに関する大統領令の起案者の一人)、ウクライナのデジタル変革大臣・副首相補佐に任命される。

(9/4 Dev.by 通信)

●オストロヴェツ原発、第一エネルギーブロックにおいて原子炉の注水実験開始。

(9/7 ベラパン通信)

●8月、ベラルーシ金準備高、約14億ドル、15.8%の大幅減少。

(9/7 ベラパン通信)

軍事・内政

●ババリコ陣営による新政党「一緒に」の設立に関する各者のコメント

・チハノフスカヤ元候補

「調整評議会の中に支配的な政党があってはならない。(ババリコ氏が動画で述べた)選挙に敗れたという見方には賛同しない。我々の第一の課題が憲法改正だとの意見にも同意しない。」

・ラトウシュコ調整評議会幹部会メンバー

「政党『一緒に』の設立目的が分からない。私にとって調整評議会は陣営ではなく政党である。」

・ババリコ陣営もコメント。

「チハノフスカヤ氏が選挙で勝利したことに疑いを持っているベラルーシ人は一人もいない。政党の設立は調整評議会の活動に抵触しない。調整評議会による要求内容を勝ち取ることが第一というチハノフスカヤ氏の考えに賛成。」

(9/1 ベラパン通信)

●ベラルーシカリ社のスト委員会委員長に15日間の拘留決定。

(9/1 ベラパン通信)

●モズィル製油所従業員約1200名、ルカシェンコ大統領とエルモシナ中央選管長の退任、および大統領選挙の再実施を要求し、当局による暴力を批判する同社幹部宛の書簡発出。

(9/2 ベラパン通信)

●憲法裁判所、「大統領選挙の見直しを目的とする調整評議会の設立は、憲法や選挙法の規定外であり、違憲である。」

(9/2 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会メンバーのヴラソヴァ氏、刑法243条(脱税)による刑事訴追される。

(9/3 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会メンバーのコヴァリコヴァ氏とディレフスキー氏は3日に釈放予定であったが、15日間の勾留延長。

(9/3 ベラパン通信)

●ヴォロネツキー下院議員、有権者と会談。

「私は、選挙の透明性や平和的集会の解散、治安部隊による拷問について黙っているつもりはない。議会是对話の用意がある。」と発言した。

(9/3 Tut.by 通信)

●調整評議会幹部会メンバーのラトウシュコ氏、ポーランド政府高官と協議し内政危機の解決に関する同評議会のアプローチを伝達。EUによる仲介方法について協議。

(9/4 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ候補、コメント。

「調整評議会は危機の原因ではなく、危機克服の可能性であり、同評議会との対立や参加メンバーへの圧力は、無意味である。」

(9/4 ベラパン通信)

●独立国家共同体(CIS)、集団安全保障条約(GSTO)、上海協力機構(SCO)加盟国国防相会合にて、フレニン国防大臣発言。

「西側における一定の勢力が、ベラルーシに対するハイブリッド戦争に向け移行している。」

(9/4 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、テレビ会議形式の国連安保理事会合に出席し、国際監視団の派遣を要請
(9/4 ベラパン通信)

●治安当局からの退職者に支援を表明した IT 企業の幹部4名、大金横領の疑いで逮捕。
(9/4 ベラパン通信)

●ミンスクでは雨の降る中、10 万人以上が「団結の行進」に参加。全国各地で抗議デモ。
(9/6 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、有権者の質問に回答
「我々はいかなる国家の首脳との対話にも用意ができていますが、ロシアからの電話はない。」
(9/5 ベラパン通信)

●ポーランドに国外退去となった調整評議会幹部会メンバーのコヴァルコヴァ氏、記者会見
「私は、チハノフスカヤ元候補と同じように国外退去させられた。当局の人間が拘置所に来て、私を車に乗せ、フードを被せ、マスクを渡し、後部座席に座らせ、連れ去った。」
(9/6 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会メンバーのラトウシュコ氏、治安部隊に向けたビデオメッセージ
「未来を考えてほしい。あなた方にはまだ、善良の側につき、国民と共に勝利を祝う機会がある。」
(9/6 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会メンバーのラトウシュコ氏、ビリニウスでリトアニア高官と協議
(9/6 ベラパン通信)

●ベラルーシ国家機関のウェブサイトが相次いでハッキングされる
内務省のサイトでは指名手配犯の掲載ページに「人民に対する軍事的犯罪と国家権力の篡奪」の罪状で

ルカシェンコ大統領が掲載された。
(9/5, 9/6 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会メンバーのコレスニコヴァ氏、ミンスク市内で何者かに拉致される。
(9/7 ベラパン通信)

●調整評議会メンバーのエゴロフ氏、逮捕。
(9/7 ベラパン通信)

(了)